

「ブナ大きく育って」

植樹フェスタ 白神の森づくりに汗

鯀ヶ沢

世界自然遺産白神山地のブナの森づくりに貢献しよう、NPO白神山地を守る会や津軽森林管理署などで行く実行委員会（永井雄人実行委員長）は6月28日、鯀ヶ沢町黒森地区の「白神自然学校遊々の森」で、第24回白神山地ブナ植樹フェスタ in 赤石川（陸奥新報社など後援）を開いた。

ブナの森づくりに加えて、地球温暖化防止の普及啓蒙活動に貢献するのが目的。青森市内の大学生や地元の高校生ら約60人が参加。植樹方法などの説明を受けた後、長靴を履いて林の中に分け入り、農工具で土を掘り起こし、50センチ1丁に成長したブナの苗木を

植樹した苗木の周囲を踏み固める参加者



丁寧に植え付けた。青森市から参加した浜館小学校6年野藤葉菜恵さん（12）は「土が硬くて掘るのが大変だった。早くブナが大きく育ってほしい」と話した。

（下山高秋）